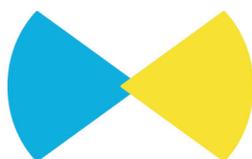


助成プロジェクト実施の報告

2023年度

子ども若者の体験や学びの機会を支える
助成プログラム



公益財団法人
たかまつ讃岐 Takamatsu Sanuki
Tellus Foundation
てらす財団

初年度（2023）

子ども若者の体験や学びの機会を支える 助成プログラム

団体
対象

たかまつ讃岐てらす財団（通称「てらす財団」）は、どこかの「誰か」ではなく、市民が「みんな」でお金を出し合っつてつくったコミュニティ財団です。2023年5月27日のキックオフ以降 2023年8月31日までの約3ヶ月間で、644名の方から562万円余りの設立寄付をお預かりしました。財団設立に必要な300万円を除いた寄付金を、初年度の助成原資として活動をはじめました。

団体対象

子ども若者の体験や
学びの機会を支える
助成プログラム

地元が好き
いつかは戻ってきたい
そんな気持ちを胸に
進路選択に望む姿があってほしい

10/27
申請受付
START



趣旨

香川県は大学収容力指数からも、進学タイミングで県外へと出て行ってしまいう若者が多いと言われる地域です。香川県で育った若者たちが「地元が好き」「いつか戻ってきたい」という気持ちを胸に進路選択に臨む姿が増える未来をめざします。

そのために必要とされる機会は、地域での体験や学びを通じた小さな成功体験の積み重ねや、安心して自らの未来を肯定的に話せる居場所等、多岐にわたります。各団体が持つ専門性を活かし、子ども若者が地域との関わりの中で地元への愛着や誇りを持ち、いつか主体的に地域と関わりを持ちたいと思えるきっかけとなるような、草の根活動を支援します。

助成総額 908,000円

助成件数 11件

※1件あたり10万円まで

スケジュール

申請受付 2023年10月27日(金)～2023年11月30日(木)

公開審査会 2023年12月17日(日)

結果通知 2023年12月25日(月)

助成式 2024年1月15日(月)

事業実施 2024年1月15日(月)～2024年6月30日(日)

報告会 2024年9月13日(金)



未来 ISSEY グッドブラザー事業

病と闘う子どもに笑顔を

長期入院・治療中の子どもたちの病棟に、スタッフや学生ボランティア「グッドブラザー」が出向き、学習支援やゲーム・制作活動・交流イベントを実施しました。直接会うことが難しい子どもたちとは、オンラインで一緒に遊びました。きょうだい児や自宅に帰っている子どもたち向けにもイベントを開催し、ゲーム・パフェ作り・音楽などを通じて、楽しいひとときを過ごしました。

また「グッドブラザー」新規登録研修会を5会場で開催したところ、大勢の方にご参加いただき、登録者数はボランティアを含めて120名を超えました。

年齢の近いグッドブラザーが活動に関わることで、学校に通えない子どもたちとの心の距離がより近づき、闘病生活の中に笑顔の時間を増やすことができました。



団体名 特定非営利活動法人
未来ISSEY

助成金額 100,000円



Instagram @miraiissey11

Webサイト <https://miraiissey.com/>

じぶん表現あそび プレイわあく

「子どもらしさ」全開！

小学1～6年生を対象に、親元を離れて一泊二日の宿泊体験を実施しました。

異年齢混合チームでのドーム作りでは、年上の子が年下の子に教える、年下の子は年上の子を見て真似るなど、チームのまとまりができて、雰囲気良く楽しむ様子が見られました。表現ワークでは、思春期に差し掛かる高学年の子たちが、年下の子たちの全力で楽しむ様子につられて「子どもらしさ」を見せてくれました。子ども自身で身の回りのことをする、声を掛け合う、助け合うなど、生活面でも成長がみられました。

子どもたちの社会性や肯定感を養う機会として、チームワークを育むワークや、自分の感情・想いをうまく遊びの中で表現していくワークなどを、引き続き開催していきます。



団体名 特定非営利活動法人
マイシアター高松

助成金額 100,000円



Instagram @mytheater_takamatsu

Webサイト <https://my-theater.net/>

「作って食べる」チャレンジド体験プログラム

自分でできるが自信になる

チャレンジド（主にダウン症）を対象にした調理体験プログラムを全4回行いました。

耐熱性のポリ袋に食材を入れ、袋のまま鍋で湯せんするパッククッキングという調理方法で、チャレンジドたちは何品もの料理を作り、みんなでおいしくいただきました。

「自分でできた！」を経験し、保護者にできる姿を披露することで、小さな自信をつけることができました。それが「またやってみよう！」という料理への興味を引き出してくれると感じました。

最初は心配そうだった保護者の方も、手助けなしに調理をするわが子の姿に少し不安が解消されたようでした。

『すべての人が「作って食べられる」幸せな社会に』を目指して、これからもチャレンジドたちが笑顔で体験活動ができる場を作っていきたいと思います。



団体名 一般社団法人
パッククッキング協会ジャパン

助成金額 100,000円



Instagram @packcooking.japan

Webサイト <https://packcook-j.com/>

自由っこ広場オープン記念イベントの開催

地域も親子も過ごしやすく

子どもの発達特性や発達の凸凹に悩んでいる保護者同士が、子連れでも安心して交流できる場「自由っこ広場」のオープン記念イベントを開催しました。

大学教授の講演会、支援グッズである絵カード作り、アロマバームを作りながらのペアレントトレーナーとのおしゃべり、フリーマーケットなどを実施しました。講演・ワークショップ中は子どもたちの見守りをする中で、保護者がゆっくりと話を聞ける環境を整えました。また、当事者だけでなく、一般の地域の方にも広場を知ってもらう機会となりました。

今後も、発達特性のある子どもたちとご家族にほっとできる居場所を提供し、地域の方も子どもたちもみんなが過ごしやすい環境づくりを目指します。



団体名 NPO発達にじいろ自由っこ

助成金額 38,000円



Instagram @jiyukko

Webサイト <https://nouvelle0408.wixsite.com/-site-1>

「～生理がくるのが楽しみになる～ 生理の保健室イベント」の開催

親子で楽しく学ぶ時間

親子でも子どもだけでも楽しめる「～生理がくるのが楽しみになる～生理の保健室イベント」を開催しました。

生理のおはなし会、個別相談、生理用品、デリケートゾーンケアなどのブースを設け、生理中の過ごし方やどうすれば重い生理にならないかなどを伝えました。会場はとても明るい雰囲気になり、保護者からも「一緒に聞けて家でも話すきっかけになった」「自分も子供のころに聞きたかった」など、とても好評でした。

家庭内で伝えてもちゃんと聞いてくれない、伝え方がわからないといった保護者の声もあり、専門家である第三者が親子に向けて伝える本事業にニーズがあることがわかりました。今後も継続して開催できるようにし、思春期の女子たちが生理のトラブルで悩むことなく充実した学生生活が送れるようサポートしていきます。



団体名 生理の保健室☆協会

助成金額 100,000円



Instagram @yoshikawa_kazuyo

Webサイト <https://seirino-hokenshitsu.com/>

外国にルーツのある子ども向けの日本語教室の開催

言語を超えて仲良しに

外国ルーツの子ども向けに月1回の日本語教室を開催しました。また、外国人が使う「やさしい日本語」に関する相談窓口を開きました。

さらに、参加者がペアになって様々な国の言葉と日本語で交互に絵本を読むイベント「日本語と外国語のおはなし会」を開催しました。絵本を読んでくれた日本語・外国語ペアの方には当日の写真入り記念カードをお渡ししました。国籍を問わず、子どもから大人まで一緒に絵本を読み、とても温かい友好的なムードになりました。

日本の子どもたちには、外国語を聞いたり外国人と日本語で話したりする経験を、日本語を勉強中の外国の方には日本語を披露する機会を提供することができました。



団体名 はずむ日本語

助成金額 80,000円



Instagram @hazumu.nihongo

Webサイト <https://hazumu-nihongo.com/>

ツインズデー 「讃岐おもちゃ美術館にお出かけしよう」

双子ちゃん、大集合！

多胎家族を対象に、双子の日（2月22日）に讃岐おもちゃ美術館で「ツインズデー」を開催し、0～5歳の双子26組とその家族、総勢95名が参加しました。

スタッフ以外にも学生ボランティアやおもちゃ学芸員が子どもを見守り、保護者も安心してゆっくり子どもとの遊び時間を満喫することができました。子どもたちは地域のおもちゃや木のおもちゃに夢中になり、コマ回しやハイハイレース大会も行いました。Q&Aコーナーでは多胎育児の困り事・疑問を質問し、参加者がそれに回答を寄せることで、多胎家族ならではの悩みや喜びを共有しました。

「お出かけのきっかけになった」「またおもちゃ美術館に来たい」など満足度の高い感想が寄せられ、笑顔いっぱいのツインズデーとなりました。



団体名 さぬきツインクラブ

助成金額 60,000円



Instagram @sanuki_twinclub

Webサイト なし

男木島「海と森の家」を拠点とした、 学びの機会創出・関係人口増加・移住促進事業

島の魅力、堪能の2日間

島内の子どもの学びの機会として、ピアノ教室と英語教室を継続開催することができました。

また英語教室のイベントとして、島暮らし体験と男木島小中学校見学ツアーキャンプを開催し、島外からも多くの子どもたちが参加しました。学校見学ツアー、テント設営、火おこしからのBBQでは島の海の幸を楽しむなど、子どもたちは次々と体験する島の魅力に大喜びでした。

島外の参加者からは「島の子どもと交流ができ、島の現状や地元の方の暮らしぶりを見聞きすることができてよかった」「島の方々がとてもあたたかく、親子ともに居心地がよかった」との感想をいただきました。

今回整備した場を活用して、今後もイベントを開催したり日常的な子どもの遊び場として開放したりしていきます。



団体名 男木島、未来の教育プロジェクト

助成金額 100,000円



Facebook <https://www.facebook.com/OgiEdu/>

Webサイト <https://ogijimamirai.com/>

こども若者たちの声を聴き、可能性と課題を考え、ともに未来をつくる事業

みんなで考えるフォーラム

子ども若者のリアルな声を記事にしたユース新聞「もも通信」を作成し、フォーラムで展示しました。子ども若者自身が記事を作成する過程で、絵やぬりえ、短歌などの自己表現を通して他者との交流を試みました。

また大学生や若者支援に関わる方を対象にしたフォーラム「こども若者の多様性と創造性」を開催しました。尼崎市の子どもの権利から考えるまちづくりの先進事例が紹介された後、「セクターを越えた協働」をテーマにパネルディスカッションを行いました。

参加者の若者からは「子どもの気持ちや意見を聞き入れるために多くの人たちが力を入れてくれていることに気づき、困ったときにはこれだけの助けがあることを実感した」との感想をいただきました。



団体名 一般社団法人もも

助成金額 100,000円



Instagram @manabiya_momo_kagawa

Webサイト <https://manabiya-momo.jp/>

LGBT（ジェンダーフリー）に関する絵本・児童書を地域の居場所である子ども食堂に届けたい！

一人で悩む子どもを減らす

高松市内の子ども食堂へ、LGBT（ジェンダーフリー）に関する絵本・児童書を2冊ずつ無償寄贈しました。

地域の子どもたちの居場所である子ども食堂への絵本寄贈を通じて、小学校低学年児や未就学児にもLGBT啓発のアプローチができました。

選定した絵本を市内小学校で読み聞かせした際には、「自分のことを大切にすることが書かれている」といった感想が多くあり、また現役教諭からは「道徳等の授業で使えるような絵本はないか」との声もありました。夏休み期間中に、子ども食堂でも寄贈した絵本の読み聞かせを実施予定です。

今後はオリジナルの絵本の製作も検討していて、LGBTの悩みを一人で抱えている子どもたちに手を差し伸べ続けたいと思っています。



団体名 あしたプロジェクト

助成金額 100,000円



Instagram @ashipro7830

Webサイト <https://ashipro.org/>

